

## 主 文

本件上告を棄却する。

当審における未決勾留日数中六〇日を本刑に算入する。

当審における訴訟費用は被告人の負担とする。

## 理 由

被告人本人及び弁護人日佐戸輝一の上告趣意（後記）は、刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。（弁護人の上告趣意は、憲法違反を主張するけれども、その実質は事実誤認の主張に外ならない）。また記録を精査しても同四一一条を適用すべきものとは認められない。よつて同四一四条三八六条一項三号、一八一条、刑法二一条により主文のとおり決定する。この決定は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年八月二九日

最高裁判所第二小法廷

|        |   |   |       |
|--------|---|---|-------|
| 裁判長裁判官 | 栗 | 山 | 茂     |
| 裁判官    | 小 | 谷 | 勝 重   |
| 裁判官    | 藤 | 田 | 八 郎   |
| 裁判官    | 谷 | 村 | 唯 一 郎 |